

# 交通マスタープラン

## 5. 将来の都市構造 『ブカレストはどう変わるべきか』

### 5.1 将来の経済成長

ルーマニア経済は現在下降線をたどっており、今後も暫くはその傾向が続くであろうが、やがて上昇に転じると予測される。年平均 2.7%の伸び率で成長すれば、2015 年の GDP は 1998 年水準の 1.8 倍となると予測される。

### 5.2 将来人口

調査地域の 2015 年の人口は、上記のような経済成長の下で、226 万人と予測された（1998 年人口は 215 万人）。常住地就業人口と従業地就業人口はそれぞれ 106 万人および 113 万人となるであろう。

### 5.3 都市開発パターン

現在ブカレスト市は都市基本計画（PUG）を作成中である。本調査では、策定中の PUG との調整を行い、都市交通計画立案の観点から、以下の 3 つの都市開発パターンを想定した。

- a. 非抑制型開発パターン：住宅地の周辺農地へのスプロールを容認する（図 5.2）。
- b. 集中型多核開発パターン：過度の都心集中を避け、コンパクトな市街地を維持しながらも、副都心を既成市街地内に設置する（図 5.3）。
- c. 分散型多核開発パターン：新都市および新産業の立地を外環状線沿いに行う（図 5.4）。

これらの 3 つの都市開発パターンのうち、以下に述べる理由から、集中型多核開発パターンを最適なパターンとして選択した（図 5.1）。

- 1) 人口増加圧力は大きくないと予測されるため、コンパクトな市街地の維持は可能である。
- 2) 作成中の PUG の基本概念と合致している。
- 3) 自動車型社会の弊害が少ない。
- 4) 環境保全に寄与する。

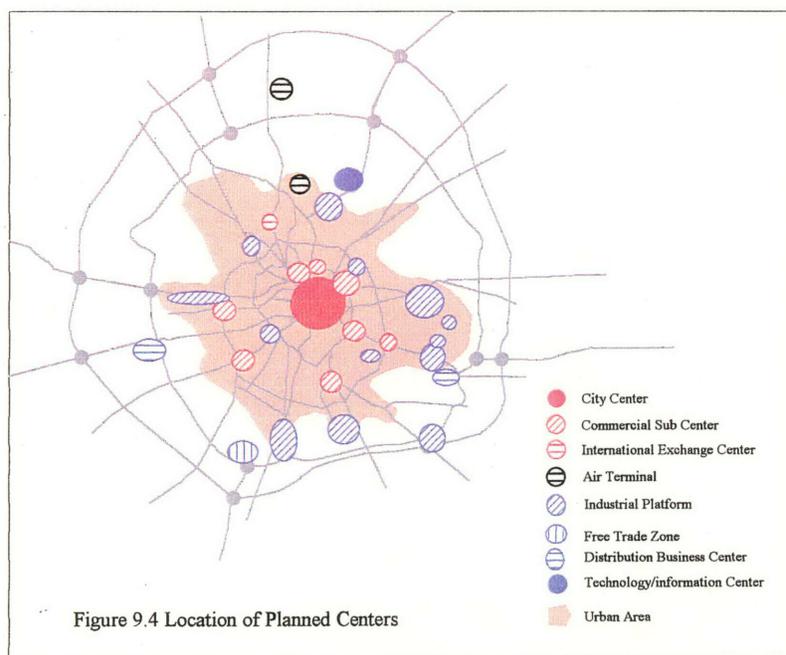


図 5.1 集中型多核開発パターンにおける計画センター

